

中学校

教科【国語】

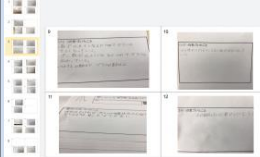
単元【いにしへの心を受け継ぐ】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

ICTを効果的に活用し、芭蕉の旅への思いと対比した自分の旅へのイメージの交流を通して、作者の心情に迫ることでき、より深く学びが深まる。

ICT活用のポイント

黒板に題材を瞬時に映し出すことで効果的な音読ができる。また、他者との交流が容易にできることで、より作者の心情に迫ることでき学びが深まる。

使用するICT機器	タブレット、プロジェクター、大型提示装置	使用するアプリ・クラウドサービス等	Kocri、Googleスライド*、Jamboard、Googleフォーム
クラウドの活用	☐ 教材の配布・回収等 ☒ 生徒の学習状況の把握	☒ 資料等の共有 ☐ その他（ ）	
本時のねらい	「おくのほそ道」の原文を読み、叙述を根拠に芭蕉の旅への思いをとらえることができる。		
	主な学習活動 (学習場面)	ICTの活用・留意点等	評価
導入	○奥の細道に興味をもたせる ○作者と作品の概要を確認する ○本時の目標を確認する 一斉	 - 当時の時代背景や芭蕉についてタブレットから大型提示装置に図や動画を写す。 - Kocriで原文を黒板に写す。 指針2 指針6    - 本時の目標を確認し、情景を想像しながら音読をする。	
展開	○情景を思い浮かべながら音読する ○馬子と船頭の生き方と旅とのつながりに注目し、「芭蕉の旅への思い」について交流する 個別 協働 ○「芭蕉の旅への思い」と「自分のもつ旅へのイメージ」を交流する 協働	 ICT機器 クラウド  指針2  - Googleスライドで作成したワークシート（紙）で自分の考えをまとめる。  - Googleスライドを活用し、1ページを罫線で4分割し、クラスの生徒分のワークシートを張り付ける場所を用意する。  - ワークシートをカメラで撮影し、Googleスライドの共有シートに貼り付け、「芭蕉の旅への思い」について、考えを共有する。  - Jamboardを活用し、グループ内で友達のと自分の考えを交流する。  ICT機器 クラウド 指針3	 ここで評価 【思】「読むこと」において、文章を読んで、考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 
終末	○本時の振り返りをする 協働	 Google フォームで作成した振り返りアンケートに回答する。（自動集計結果のリンクを添付し、全体でも共有する。） 指針6	

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度